

career vision

特集02

2013年度 資格・検定試験 合格者祝賀会

将来の進路実現の第一歩は 資格取得から!

八尾駅前キャンパス「オーバル」2階学生プラザにて、「2013年度資格・検定試験合格祝賀会」が開催されました。2013年度は、法律系、経済系、会計系、情報系など、各種資格・検定試験に1,097名が合格。資格・検定試験合格者が、はじめて1,000名を超えた画期的な一年となりました。資格の中には、ファイナンシャルプランナーや宅建主任者など、就職で評価される資格も多く、社会に出てからもいろいろな形で役に立ちます。当日、会場には170名の学生・教職員が参加して合格を祝い、今後、いっそうステップアップした資格を目指して頑張ろうと誓いました。



仲間と一緒に夢を追え!

阿部 真彦さん
経済学部2年生
宮城県立泉高等学校出身
日商簿記検定1級合格

税理士という仕事に憧れていた中で、税理士講座があるSコースを選びました。大学生になるまで学んだことがなかった簿記でしたが、Sコースで学んだことで、1年生の6月に3級、11月には2級に合格しました。そして、そのままた1級の学習に進み、2年生の11月の試験で合格しました。資格試験としては、そのほかにも、MOSのエクセル2010、パワーポイント2010、アクセス2010の試験に合格しています。将来、税理士になることが夢なので、在学中に税理士試験5科目のうち「簿記」「財務諸表論」の2科目の合格を目指しています。本学に来てよかったことは、Sコースで互いに高め合うことができる友人に出会ったことです。



資格とBLPで、就活の準備は万全!

別當 里奈さん
経済学部2年生
大阪府立横風館高等学校出身
販売士2級、秘書検定2級ほか

自分に向いているものを探していく、いろいろな資格に挑戦しました。1年生で簿記3級とパソコン検定3級に合格。2年生では簿記2級をはじめ、販売士3級・2級、MOSのワード2007、エクセル2007と2010、秘書検定2級、ビジネス能力検定2級、パソコン検定2級に合格。この1年間で一番多くの資格を取得したとして表彰されました。また、就職版Sコースである「BLP」(ビジネスリーダープログラム)も受講しています。BLPは、スーツで授業を受けるなど、就活への取り組みに特化した授業です。名刺交換のマナーからはじまり、グループワークや模擬面接、先輩の就職活動の様子を教えていただいたりします。多くの資格を取得したことやBLPの受講を、就職活動に生かしたいと思っています。



切磋琢磨できる友人がライバル!

深野 崇さん
経済学部2年生
高等学校卒業程度認定試験
日商簿記検定1級合格

大学に進学するときに、会計職の最高峰である公認会計士を目指すと思い、受講料無料のSコースのある本学を選択しました。そして、1年生の6月に簿記3級、11月に2級に合格。2年生の11月の試験で、簿記1級に合格しました。このまま、公認会計士試験現役合格を目指しています。本学に来てよかったのは、いいライバルに出会ったことです。Sコースで税理士を目指している同じ学年の友人の存在が、自分の負けず嫌いな性格にとって励みになっています。お互いに相手がいい点を取ると、負けていけないと頑張っており、レベルアップしています。



career vision

特集03

Be磨女会&女子ワークショップ 合同企画

Be磨女会&女子ワークショップ合同企画! 「クリスマスメイクで楽しむゴスペル&ミュージカル」

12月13日(金)、女子学生のためのキャリアサークル「Be磨女会」と女子ワークショップのコラボレーション企画「クリスマスメイクで楽しむゴスペル&ミュージカル」が行われました。

メイクでメリハリ!

まず、クリスマスイベントを楽しむため「普段と違うメイクで変身」という訳で、第4回Be磨女「クリスマスメイク講座」を実施。クリスマスにふさわしい「パーティーメイク」を、ポニー・サザビュティー・八尾店の皆様が協力して下さいました。



オシャレの後はクリスマスライブ。素敵な時間を五感で満喫!

メイクでパツパツおしゃレをした後は、学生プラザで、女子ワークショップ「クリスマスライブで素敵な時間を過ごそう」の楽しいひと時が待っていました。ロールケーキを使ったタワーに、生クリームやオーナメントで、思い思いにデコレーション。目にも舌にも美味しいケーキを堪能したら、次は耳に美味しい演奏会です。合唱団による数々のクリスマスソングと、英語ミュージカルの一節を鑑賞し、「きよしこの夜」を全員で二重唱してハーモニー体験も満喫。五感をフルに使った、素敵な一日となりました!



※学年は、2014年3月現在のものです。

career vision

特集01

卒業生 座談会

迷ったら前進! 大学生活から 得られるものはすべて吸収してほしい! 新社会人になる先輩からの熱いメッセージ!

何かを見つけるために大学に入学する。そんな学生も多いことでしょう。これから社会に羽ばたこうとする先輩たちが、本学で学び打ち込んだこと、就職活動に取り組んできたエピソードを語ってくれました。これからの4年間の学生生活を輝かせるヒントがたくさん詰まった座談会になりました。



新入生歓迎特別座談会

<プロフィール>
キャリア支援部長補佐
吉川 真理子 教養部准教授

吉川 このたびは卒業おめでとうございます。晴れの日を迎えられた皆さんにいつかのテーマで語っていただきます。まず、4年前を振り返って、どんな夢を持って入学し、大学生活を通じてどのように実現したり、変化したのかについて聞きたいと思っています。まず、伊藤さんはどうでしたか?

伊藤 将来、社会に役立てるような社会人になりたいと考えていました。大学生活に慣れるにつれて、教職員の方や学生の仲間と触れ合ううちに徐々にコミュニケーション能力が向上したことが、就職活動の結果にうまく結びついていたと思っています。

吉川 就職活動ではどこをアピールしましたか?

伊藤 個性を出したいと考え、意外性を感じさせるような自己PRを意識しました。例えば、ピアノを小学生の頃から習っていてJ-POPなどを楽譜なしで演奏してYouTubeにアップロードしていることを話しました。また、パソコンに精通するレベルデスクという学内アルバイトの経験を、取得した資格とともにアピールしました。

<就職先>
イズミヤ株式会社
伊藤 佑希さん
2014年卒業(法学部)
大阪府 初芝富田林高等学校出身

吉川 原田さんの入学時の夢は、その後どうになりましたか?

原田 入学の頃は、「お笑いの世界」に小さい頃から興味があったので芸人さんのマネージャーをやりたいと思っていました。2回生でキャリアデザイン演習の授業を受けた時に、自分のなりた職業を調べる課題があり、そこで初めて給料がとても低いことを知り、現実を見つめ直すことができました。

吉川 新たな気持ちで就職活動のためにどんな努力をしましたか?

<就職先>
JA大阪河内
原田 未希さん
2014年卒業(経済学部)
静岡県 聖隷クリストファー高等学校出身

原田 3年生になってから、面接の練習や履歴書の書き方、エントリーの方法などをキャリア演習で学びました。また、毎週1回さまざまな職業の方に講師として来ていただける機会があり、そこで就職活動について知らなかった初歩的なことから学べたことで就職活動をスムーズに進めることができました。また、3年生の時には、私が2年生で受けたゼミに今度は先輩として入って、先生のサポートや指導を行うシニアメンターという学内アルバイトを経験しました。先輩にパソコンの操作などを教え、質問へのアドバイスなどを行いました。就職先でも上司や部下と接する機会があるでしょうから、将来のために良い経験になったと思っています。

吉川 どんな業務に就く予定ですか?

原田 窓口での接客業務になります。分からないことは、早く聞いてメモをとることを心がけ、早く慣れて仕事をこなせるようにしたいです。

<就職先>
大阪府庁
馬場 未知さん
2014年卒業(法学部)
大阪府立清水谷高等学校出身

吉川 馬場さんはどうでしたか?

馬場 中学生の頃から、よい社会をつくりたいという思いがあり、Sコース・公務員講座のある本学を選び、公務員を目指して学習を重ねてきました。大阪の活性化に少しでも役に立ちたいという思いから、大阪府職員を目指すようになっていました。

吉川 就職のためにどんな努力をしましたか?

馬場 ボランティアサークルの部長を務め、障がい者サポートの活動に取り組みました。また、本学のキャンパスなどを会場にして開催される「いきいき八尾環境フェスティバル」のスタッフも務めました。インターンシップでは、大阪府立天王寺動物園にイベント・スタッフとして配属され、公務員の仕事を実際に体験しました。資格としてはエクセルとパワーポイント、秘書検定2級を取得しています。公務員採用試験に合格できるかどうか不安があり、一般企業も受めました。

<就職先>
ドコモ・サービス関西株式会社
宮野 健治さん
2014年卒業(法学部)
大阪府 大阪情報コンピュータ高等学校出身

吉川 宮野さんはどうですか?

宮野 入学した頃は、大阪府役所の職員になりたいと考えていました。インターンシップで大阪府議会議員の事務所で議員秘書という仕事を体験し、大阪府庁や市役所を見学したのですが、職場風景がデスクワーク中心の仕事のイメージであったため、デスクワーク以外の幅広い仕事にチャレンジしたいという思いが強くなりました。ただ、本学の公務員採用試験対策講座を無料で受けられるシステムに魅力を感じていたので決断です。民間企業との就職活動の両立で悩みました。

吉川 その悩みをどのようにして解決しましたか?

宮野 就職活動が始まると、思い切った民間企業へ方向転換しました。もともと私はコンピューターの勉強をしていたこともあり、今非常に早い速度で進化しているタブレットPCやスマートフォンという「移動体通信」の分野に興味を持ち、チャレンジしようと思いました。

吉川 挑戦が実った仕事の内容を聞かせてください。

宮野 第一志望のドコモ・サービス関西への就職が決まり、営業部に配属されます。責任感をもって取り組んでいきたいと思っています。

吉川 将来の夢を抱いて入学した1年生にアドバイスをお願いします。

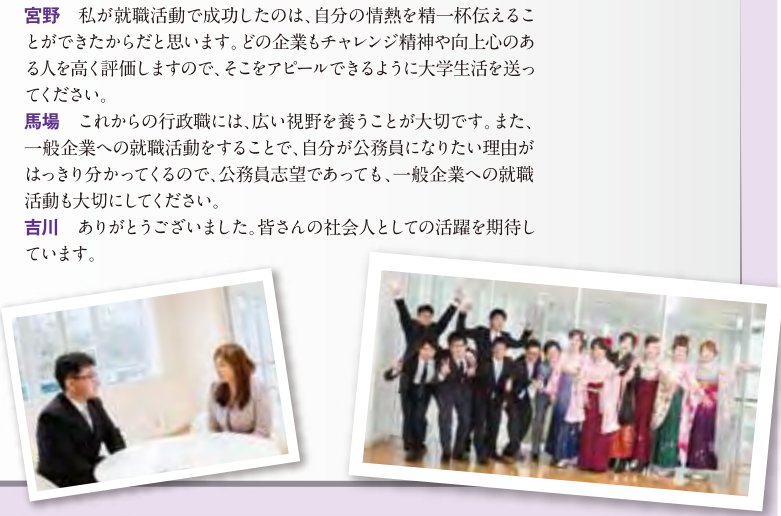
伊藤 4年という時間を有効に使ってほしいと思います。私も有意義な経験を求めてインターンシップに参加しました。学内の勉強はもちろんですが、企業体験などを通して社会との接点を作っておくことが大切だと思います。

原田 大学に入ってから、遊ぶことと学ぶことのメリハリをつけることが大事だと思います。アルバイトを選ぶ時には、自分が携わる仕事をしっかり考えて、就職活動などに少しでも役立つ働き方をしていくことも大切です。

宮野 私が就職活動で成功したのは、自分の情熱を精一杯傾けることができたからだと思います。どの企業もチャレンジ精神や向上心のある人を高く評価しますので、そこをアピールできるように大学生活を送ってください。

馬場 これからの行政職には、広い視野を養うことが大切です。また、一般企業への就職活動をする中で、自分が公務員になった理由がはっきり分かってくるので、公務員志望であっても、一般企業への就職活動も大切にしてください。

吉川 ありがとうございます。皆さんの社会人としての活躍を期待しています。



今回のベトナム視察では、ハノイでの視察受け入れ先企業の調整をはじめ、プログラムの実施に向けて、地元ハノイ市の株式会社伸明久保社長に大変ご尽力いただきました。
株式会社伸明
代表取締役社長
久保 登嗣氏

Career Vision 海外プロジェクト グローバルキャリア体験IN

東南アジア
ベトナム
Vietnam

Vietnam グローバルキャリア体験INベトナム

日本企業の進出が加速しているベトナムで、 グローバル社会を肌で感じた5日間

大阪経済法科大学では、2014年3月9日(日)～15日(土)、近年、経済成長が著しく日本企業の進出が急増しているベトナムで「グローバルキャリア体験INベトナム」を実施し、7名の学生が参加しました。
ハノイ郊外にあるタンロン第1・第2工業団地には、日本から100社を超える企業が進出しています。今回のプログラムでは、その中でも、ハノイ市や大阪府に本社がある企業の海外現地事業所などを6泊7日にわたって視察しました。海外に赴任されている日本人駐在員の方々と交流から、外国で働くにあたって身につけなければならない価値観や素養、グローバル社会で生きるからこそ必要な自国の文化や歴史を知ることの大切さなどを、肌で感じながら学びました。この経験は、大学生活における自身の課題を見つける好機となり、以降の大学生活に大きな変化をもたらすことでしょう。

Vietnam schedule

- 1日目 3/9(日) 関西空港出発 ベトナムハノイに着き 駐在員会館に到着
- 2日目 3/10(月) 3/11(火) ハノイ市内最大の 郊外市場を視察
- 3日目 3/12(水) ハノイ郊外の 郊外工業団地を視察
- 4日目 3/13(木) ドラム村見学 (民芸品作り体験)
- 5日目 3/14(金) ホーチミン郊外の ホーチミン市見学
- 6日目 3/15(土) ホーチミン郊外の ホーチミン市見学
- 7日目 3/16(日) 関西空港着



ベトナムに行って
猛烈と勉強したくなりました。

坂本 大さん
経済学部2年生 大阪府立門真みなみ高等学校出身

インターンシップの仲間たちは個性的で意識の高い学生が集まっている、とても仲良くなりました。ハノイで一晩語り明かしたのがいい思い出です。日本に本社があって、ベトナムに支店や工場のある会社に訪問しました。2～3人の日本人以外には現地の人がほとんどです。訪問先の社長さんたちが「日本は人件費が高いから海外に出したい」と言われたのがすごく印象に残っています。会社や工場での会話は通訳を通して行われており、単語を覚えていくだけでなく、知識、技術面でも何か専門性を持っていないと海外では通用しない、と実感しました。僕は学生、高校とスポーツ一本でやってきましたが、ベトナムに行くと世界の動きに触れ、猛烈と勉強する意識がわいてきました。これから大学生活を始める新入生の皆さんは、学生中に海外体験を一度でも経験してほしいです。海外で現地の歴史や文化、社会に触れることで、勉強への意欲や将来の進路に対する関心が高まると思います。

旧南ベトナム大統領官邸前



めざす将来のイメージが
広がりました。

詹 浩竹さん
経済学部3年生 湖南省長沙市第十一中学(中国)出身

「グローバルキャリア体験INベトナム」というタイトルを見て興味を抱きました。将来は仕事を通じて世界で活躍することが目標です。訪問する予定の会社のホームページを見て、どんな仕事をしているのかを理解して、現地で質問する内容をイメージしました。現地では、慣れない文化や言葉の壁を乗り越えて、ベトナム人社員とともに熱心に仕事へ取り組む日本人社員との姿に深い感動を受けました。また、若手29歳でH&STC社の副社長を務め、現地法人を率いるベトナム人女性から話を伺う機会を得ましたが、その女性の働きぶりやひとひきの仕事への姿勢に尊敬の念を抱きました。私は将来、ブラジルに関わる仕事をめざしていますが、今回のベトナムでの経験を通して、働くステージを海外へ広げたいという思いをさらに強くしました。



& イタリア・フランス Europe

Europe グローバルキャリア体験INヨーロッパ

ミラノ・パリでインポート企業に随行、グローバルビジネスを体験した10日間

大阪経済法科大学では、2014年3月1日(土)～12日(水)、婦人靴のインポートを中心に事業を展開する株式会社ハヤシゴの協力により「グローバルキャリア体験INヨーロッパ」を実施し、3名の学生が参加しました。毎年ミラノで開催される世界最大の国際見本市MICAM(ミカム)展を中心に、ミラノ、フィレンツェ、パリでの商談に学生が随行し、海外での実習を通じた就業力向上、語学力とグローバルマインドの養成を目指すものです。参加した学生たちは、社会人としてのコミュニケーション能力、語学力などの重要性をあらためて認識し、今後の大学生活での課題を見つける機会になりました。

Europe schedule

- 1日目 3/1(土) 大阪空港出発 パリ乗継ミラノへ
- 2日目 3/2(日) ミラノMICAM展(買付・取引)見学
- 3日目 3/3(月) MICAM展見学 市内でマーケットリサーチ(デパート・ブランド店等)
- 4日目 3/4(火) MICAM展見学 市内でマーケットリサーチ(デパート・ブランド店等)
- 5日目 3/5(水) ミラノ・フィレンツェへ 市内でマーケットリサーチ(デパート・ブランド店等)
- 6日目 3/6(木) フィレンツェで 名所見学(ウフィツィ美術館、ドゥオモ等)
- 7日目 3/7(金) フィレンツェからパリへ 市内でマーケットリサーチ(デパート・ブランド店等)
- 8日目 3/8(土) パリ市内見学(オペラ、ブランド店等) 名所見学(凱旋門等)
- 9日目 3/9(日) 名所見学(ルーヴル、エッフェル塔等)
- 10日目 3/10(月) パリ市内見学(シャンゼリゼ通り、オペラ座等)
- 11日目 3/11(火) パリから大阪へ
- 12日目 3/12(水) 関西空港着



ヨーロッパとアジアの
接客の違いを知ったのが収穫。

野村 勘太さん
経済学部1年生 京都府立乙訓高等学校出身

海外で仕事をするのが夢で、今回応募しました。インターンシップ体験のテーマとして意識したのは、日本、以前行ったことのあるネパール、そして今回訪れるヨーロッパ、この3か国の接客の違いを知ることです。更に、海外の市場が実際どうなっているのかも知りたかったのです。日本では「お客様第一」。ネパールでは、お店に人がいないと商品が全然と置かれていたり、昔の駄菓子屋さんのような雰囲気。一方、今回訪れたヨーロッパでは、高級店のようなつかいにくいディスプレイ、そしてお店とお客との関係性、対等な関係ができています。お店に入った後挨拶を交わし、あとはお構いなし。お客様が自由に見て回り「これを触っていい？」等と聞くのが初めは話が進まず、お客様もお店を選ぶし、お店もお客様を選ぶ、きわめて対等な関係です。このように、国によって接客が違う、そこに風土や伝統が反映されているのを感じられ、このことが一番印象に残りました。私の実家は団子屋を営んでいるのですが、同行したハヤシゴの社長が「日本にはない文化を世界に広げていくのは大変。団子屋を海外でやればいい」と勧めてくださり、素晴らしい提案に気持ち動いています。



山崎 実さん
法学部1年生 大阪府 プール学院高等学校出身

海外インターンシップの期間を通して、ハヤシゴの社員と身近に接することができ、言葉使いやマナーをはじめ、ビジネスパーソンとしてのあるべき姿を学ばせていただきました。靴を買い付けるときには、その靴のいい点をすべて聞き出し、「自分がこの靴を買う時には、どのような人に履いてもらいたいのか、具体的なイメージを頭に描いて購入している」とも教えていただき、輸入の仕事に傾いておられる情熱の熱さに感動しました。さらに、ハヤシゴの専務取締役の「父の代から長い年月を重ねて、いいものが手に入るようになりまし」という言葉に、質の良い外国製品を輸入している企業の方々の苦労を肌で感じました。また、ヨーロッパの都市では、一流ホテル、高級レストラン、シャネルやグッチの本店が並ぶ街の中で、普通にホームレスの方々が見えています。そんな、光と影が混在するヨーロッパの都市を見るのが出来たことは、将来、NGOに入ってアフリカなどの貧困国を支援する仕事をしたいと考えている私にとって貴重な体験でした。



ファッションの本場で
立ち会った商談は貴重な体験。

亀田 直哉さん
経済学部1年生 京都府 京都両洋高等学校出身

ミラノで世界最大規模の国際見本市であるMICAM(ミカム)展に同行して、実際に取引する商談に立ち会うことができて、日本の企業がいかに付く現場を見学させてもらいました。たとえば、お客様の靴を履きながら、そのサイズの靴をどれだけ仕入れればよいのかの判断に判断しつづき商談を進めるなど、将来ファッションのバイヤーを目指している私にとってとても勉強になりました。フィレンツェとパリでは、ブティックやデパートなどをまわって市場調査をしました。とくにパリで印象に残ったのは、店のディスプレイの美しさと、凝ったレイアウトですね。日本とは違う光景でした。ヨーロッパには高級ブランドの本店が多いので、日本のデパートなどの高級ブランド店と何が違うのか、商品ラインナップの違いなどの知識を得る目的で、事前に日本国内の店舗を見てまわりました。海外に興味を持っていたり、ファッション関係に興味を持っているのならこのプログラムに参加するべきだと思います。私自身、この体験を通して価値観が大きく変わりました。



※学年は、2014年3月現在のものです。

大阪樟蔭女子大学との合同グループディスカッションを実施

2月10日(月)、八尾駅前キャンパスにおいてキャリア支援の一環として、「大阪樟蔭女子大学との合同グループディスカッション」を実施し、27名が参加しました。昨年に続いて2回目となった今回、集団模擬面接も加えより実践的な内容にリニューアルしました。普段なかなか接する機会のない他大学の学生と取り組みことにより、本番さながらの緊張感を体験することが最大の狙いです。

チーム意識がカギ! グループディスカッション!

グループディスカッションでは、まず、グループごとに異なるテーマが封筒に入れて配布されます。そして、初対面の学生達がお互いに役割を決め、話を進めていきます。グループディスカッションで重要なことは、チームとして何か一つの結論をまとめあげようという意識です。自分が担当する役割をこなすだけでなく、困っている人をサポートし、分らない点があればチームに働きかけたり、チーム意識を持つこと、頭で理解しているより難しいことを参加学生達は実感したようです。



まるで本番そのもの! 集団模擬面接!

集団模擬面接は、グループ毎に分かれて2回行われました。グループの頭は毎回チェンジ。面接官は、大阪樟蔭女子大学と本学のキャリア支援担当職員が担当。雰囲気は本番そのものです。集団面接では、自分への質問だけに回答するのではなく、全体の話の流れや他の学生の回答にも気を配らなければなりません。今回の合同行事は、それぞれの学生が反省点や課題を明確にし、新たな仲間づくりにもつながる良い機会となりました。



企業人事担当者インタビュー

海外で働くうえで大切なこと

株式会社 進富 常務執行役員 技術部長 田中 恒幸氏

ベトナムへ進出するにあたり、インドネシアなどの東南アジア諸国も進出先として検討しました。やはりベトナムを選んだ理由は、ベトナムが親日的な国柄で、ベトナム人の価値観が日本人に近かったからです。さらに、ビジネスのパートナーで信頼できるベトナム人スタッフと巡り合うことができたことも大きな理由です。ベトナムで成功するには、上から目線でベトナム人に対応するのはNGです。現地の社会にしっかりと融合する姿勢と覚悟が何よりも大切です。



海外でしか学べないことがある

YAHATA VIETNAM Director 須崎 孝一郎氏

海外で働くうえで心がけることは、宗教や文化、歴史などその国のことをよく知ることです。当たり前のことですが、国によって法律も違えば、仕事のやり方も違います。そのため、必要な工具もすぐに調達できないなど、不便の連続となる場面も決して少なくありません。だから、海外で働くには、まず精神力と体力が求められます。また、日本ではなく海外でしか学べないこともたくさんあります。ベトナムでは、自らがアクションを起こして、会社の外にどんどん飛び出していけば、人脈も広がり良い経験が得られます。



内定を勝ち取る! ビジネスマナー対策

Vol. 6 電話のマナー 就活虎の穴道場
Phone Manners

電話での受け応えも就職活動の大切な要素です。適切な言葉遣いで受け応えできかどうかで、相手の印象が左右されます。早いうちから正しい電話のマナーを身につけましょう。

- ① 最初に名乗る 「お忙しいところ、失礼致します。私は大阪経済法科大学○○学部○○年生の山田太郎と申します。」
- ② 相手を呼び出す 採用ご担当の○○様にお取り次ぎ願えますでしょうか。
- ③ 相手を確認する ○○様でいらっしゃいますか?
- ④ 相手の都合を確認する いま、少々お時間をいただいてもよろしいでしょうか?
- ⑤ 相手が不在の時や忙しい時 では、あらためてお電話させていただきます。何時頃でしたら、ご都合がよろしいでしょうか?
- ⑥ 最後にお礼を言う 「お忙しい中、ありがとうございました。よろしく願います」

答え: しごう

■ビジネスの実践知識を学ぶ 企業研究キーワード

ソーシャルビジネス/コミュニティビジネス

ソーシャルビジネス/コミュニティビジネスとは、経済産業省が、地域活性化や新たな雇用の受け皿として支援しているものです。地域社会においては、環境保護、高齢者・障がい者の介護・福祉から、子育て支援、まちづくり、観光等に至るまで、多様な社会課題が顕在化しています。このような地域社会の課題解決に向けて、住民、NPO、企業など、様々な主体が協力しながらビジネスの手法を活用して取り組む新しいカタチのビジネスです。

■知っておきたい 時事問題講座

消費税8%に引き上げ

消費税は、2014年(平成26年)4月1日から、8%に引き上げられました。このうち1.7%は地方消費税にあてられます。消費税は、1988年(昭和63年)に導入が決定され、翌1989年(平成元年)4月1日からスタートしました。最初の消費税率は3%でしたが、1997年(平成9年)4月1日、消費税率は5%に引き上げられました。2015年(平成27年)10月1日には、再度の消費税率引き上げを予定しており、税率は10%(地方消費税は2.2%)になる予定です。

■読めるかな? 漢検に挑戦!

諡号

ヒント: 帝王などの貴人の死後に奉る...

答えは虎の穴道場の下